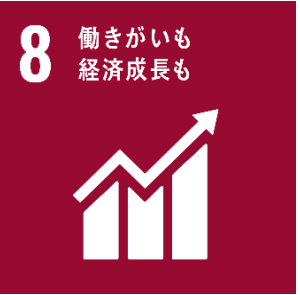


様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

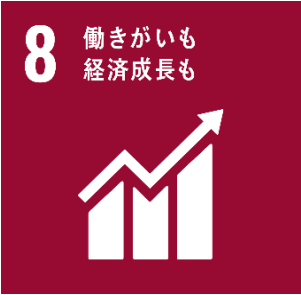
所管部署名 消化器内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	省資源の意識を高める	12		積極的に取り組んだ
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	廃棄物を減らす、リサイクルする	12		積極的に取り組んだ
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	環境負荷の少ない商品を購入する	15		積極的に取り組んだ
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	電気をこまめに消す	7		積極的に取り組んだ
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用 安全で健康に働ける職場の確保 仕事における権利の保障	大学病院のミッションとして臨床だけでなく、研究や教育が重要であるが、新たな勤怠システムは臨床偏重の組織文化を醸成するリスクがある。研究棟に在室している時間でも時間外で研究や教育の業務に従事している場合、適切に残業として申請することを推奨する。	大学院生の研究指導や教育は自己研鑽ではなく、教員の主要な業務であることを確認し、教員が働きがいを感じられる環境が確保されているか、大学院生が十分な指導を受けることができているか、勤怠管理システムの変更による悪影響についてヒアリングを行う。	8		本来業務について基礎研究棟に在室していても適切に申請し、承認される傾向にある。教育が主要な業務であることについて共有されている。
次年度の課題	当直明けに半休となる体制となったことに伴い、残っているメンバーへの業務負担増加が懸念される。人員が増えていない中で業務負担が増加することで教育や研究への影響が懸念される。				
環境活動者の取り組み評価	目標に基づき取り組んだ				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 肝胆膵消化器病学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	配布物はメールの添付の形をとり、印刷物を減らす。	15.3		配布物は署名など必要な書類をの像いですべてメール添付の形をとり省資源を行った。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	廃棄物の分別を厳格化する。	7.1		ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	紙やインクなどグリーン商品と明記されているものを購入する。	7.1		積極的にグリーン商品は購入せず値段で決めていた。これからはグリーン商品を購入する。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使っていない部屋の電気を消す。 エアコンの設定を適切な温度にする。	7.1		使用していない部屋の消灯を積極的に行った。働き方改革に伴い、は短縮化している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある環境	働き方改革の推進 残業時間の短縮	個人の業務負担を適切にする。 当直明けの休息時間の確保	8.5		体調管理に気を付け、意識的に休養を取り、リフレッシュにいそしんだ。
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	教室内での連絡事項は、メールやアプリの使用など、紙をなるべく使用しない。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	共有すべき事項をメールで共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別の徹底。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	ゴミ分別は一部出来ていないところもあったが、ごみ箱の前に分別の資料を掲示するなどの工夫をくわえた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内の物品を定期的チェックした。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	環境に還元される物品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	夜間電気を切る。エアコンの適正使用	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	主に当直医が夜間教室に不在時、消灯をした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	フレックス制の導入など。	8. 5	8 働きがいの 経済成長も	各臓器別に曜日ごと、早く出勤する人、遅く出勤する人など、おのおののライフスタイルに合った業務時間で働くことができた。
次年度の課題	実行できていることの徹底。 グリーン購入品の促進、備品在庫は盲点のため、再考が必要。 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進				
環境活動者の取り組み評価	カンファレンスで使用する資料を電子カルテに変更するなど、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。 いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。 残業の短縮化、有休取得はなかなかできていない。周知はされているが、意識づけにとどまり、来年は実務に活かしたい。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 産婦人科

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カンファレンス資料は最低限の枚数で印刷（字を小さくしても画面上で拡大できる）	12		科内の多くの人が毎回ではないが、意識して編集し印刷した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみ分別の徹底	12		プラスチックと燃えるゴミの分別は意識して行っていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内の購入物品について、それ以上に環境負荷の少ないものがないか検討する	12		あまり達成できなかった。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋の消灯（特に夜間の記録室、分娩監視室）	7		夜間の記録室、分娩監視室の消灯を徹底できていた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	購入物品の環境へ配慮した選択を行う 使用していない部屋の消灯を徹底する				
環境活動者の取り組み評価					

様式 1 （第 8 条関係）

<環境管理システム令和 5 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 小児科学

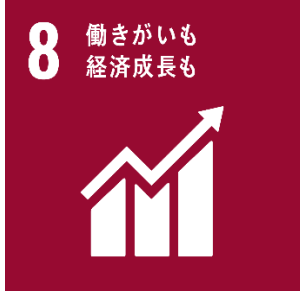
共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文書はきるだけデータで扱う．印刷する場合は両面印刷で行う． 回覧する書類はできるだけデータにて配布する． 機密情報のない裏紙をメモとして使用する．	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	計画時に上げた取り組みについておおむね行うことができた。メモの裏紙の使用についてもほぼデータベースで行い、紙をほぼ使用しなくなった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	それぞれの廃棄物専用のゴミ箱を設置し， ごみ分別を行う． 廃棄物分別表を掲示し，分別法をわかりやすくする． 持ち込みゴミを禁止する．	11. 6 12. 5	11 住み続けられる まちづくりを 	前年度に引き続き、それぞれ廃棄物専用のゴミ箱を設置し，ごみ分別を行うことができている。ゴミ分別の習慣化をすすめることができている。廃棄物分別表を掲示し，分別法を確認できるようにした。ファイルや封筒をできるだけ再利用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入前にカタログまたは見積もり先に確認を行う． できるだけ再利用可能なものを選定する	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	事務用品購入の際は，再利用可能かつ安価なものを購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない医局の部屋の消灯やトイレの	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用していない医局の部屋やトイレの消灯をこまめに行うことができた
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
実験試薬の適切な管理	使用簿，受払簿の適切な管理	毒劇物，有機溶剤 化学物質等に関しては使	12. 4 12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	使用簿と受払簿を作成し薬剤の管理を行うとともに、廃液管理簿の作成を行い廃液管理もおこなった。使用薬剤と廃液をできるだけ減量できるように、実験計画を工夫した。
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 泌尿器科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料の配布や周知をメール上で行う、印刷時には両面印刷を活用するなどして、コピー用紙の使用量の削減を目指す。	15. 2		資料の配布や周知の多くが、メール上で行われていた。 コピー用紙の使用量については、上記の取り組みの他、可能な場合には両面印刷を行うことによっても抑えられていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	詰め替えタイプの実験用チップを利用することでチップ箱を再利用し、プラスチックの廃棄量の削減につなげる。	12. 5		実験に用いるチップは詰め替え（バルクタイプ）のものを使用し、チップの箱をできるだけ再利用したことで、プラスチック廃棄量の削減につなげることができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	文具類等において、グリーン商品に該当するものを使用する。	15. 2		グリーンマーク・エコマークが付いている文房具が使用されていた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	実験機器において、継続して稼働させる必要のないものについては、使用後に電源がオフになっているかを確認する。	7. 3		勤務時、特に退勤前に、使用予定のない実験機器の電源がオフになっているかを確認した。 また、部屋の消灯の確認も行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	試薬の在庫および使用状況を把握し、管理する	試薬の使用簿・受払簿を記載する。 試薬の発注時には、適切な時期および数量を考慮し、可能な限り不要または使用期限を迎え破棄することとなる試薬が発生しないよう努める。	12. 5		劇物等の使用時において、各試薬の使用簿に日付や実験者名、使用量とその目的が記載されていた。 試薬は日々の使用状況を確認し、使用頻度と試薬の有効期限の長さを把握した上で、適切な時期・数量での発注が行われていた。
次年度の課題	・本学から出る廃棄物は事業系ごみとなり、家庭ごみと分別方法が異なることなどを認識し、ごみの分別について徹底する。 ・実験に伴い生じた廃液について、本学の安全マニュアル等に基づいた適切な対応（残留内容物のすすぎや廃液の区分等）を行う。				
環境活動者の取り組み評価	廃棄量削減と省エネルギーに関する記載内容に対して、継続的に取り組むことができていた。 また、試薬管理の項目に関しては、廃棄試薬の削減の他、劣化した試薬が使用されることの防止に寄与し、実験の実施にあたり、品質が確保された試薬の使用を促進することができた。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会からのお知らせはカンファレンスで周知し院内メールで共有する、なるべくプリントアウトをしない	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	ほとんどのお知らせはメールか全体カンファレンスで共有されていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ 分別の徹底 メモ用紙として裏紙を利用する	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	以前よりも分別が改善された。ペットボトルのラベルやプラスチックごみが一部分別されておらず、次年度の課題と考える。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	医局内のグリーン商品購入率が上がった。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化、清掃 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房の清掃を行なった。使用していない部屋の消灯が以前より改善した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある職場	働き方改革の推進	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 当直明けの休息時間の確保	8. 8	8 働きがいも 経済成長も 	業務分担されるようになったが、分担できない仕事もあるため次年度の課題と考える。
次年度の課題	人事異動で人が入れ替わるため、ゴミの分別ルールのリマインドや省エネルギーの取り組みについて再度周知を行う。 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進				
環境活動者の取り組み評価	以前よりもルール周知によりゴミの分別が改善し、使用していない部屋の消灯など、省エネルギーへの取り組みが改善された。 働き方改革に関する部分は、不十分な部分があるため来年は実務に活かしたい。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	オンライン会議を推進し、お知らせや資料はメールで共有、コピー用紙を削減する 印刷設定をPCで両面設定にしておく	12.5		お知らせや資料はメール共有され、印刷物が削減された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ箱にわかりやすく表示、リサイクル率を上げる	12.5		ゴミ箱に表示することで、分別意識が高まる。表示の仕方を工夫することにより、さらにリサイクル率が上がった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入時、カタログ又は見積先に確認を行う	12.5		グリーン商品を優先して購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	センサーライトの購入提案 冷暖房温度の適正使用 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛	7.3		使用していない部屋の消灯や冷暖房温度の適正使用はかなり定着している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
試薬・消耗品の管理	過剰在庫の削減	使用簿受払簿等活用し、重複しないよう管理	12.4 12.5 6.3		取り組めている。今年度も、週一回研究室員全員で研究室の環境整備を行っており、意識向上に繋がっている。
実験排水の管理	有害な化学物や物質の放出を最小化にし、水質を改善する。	三次洗浄水廃液ボトルを作り廃液を保管、有害な化学物や物質の放出を最小化にし、水質を改善する			
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	カンファレンスにおける患者リストの印刷 取りやめなどの新たな取り組みを行う	8.5		検討段階で、もう少し時間がかかる。
次年度の課題	毎年人事異動がある為、習慣化しても次年度へつながらないこともある。取り組めている項目は、次年度につながるよう周知を行い、引き続き習慣化、定着させる（ゴミ分別、消灯、冷暖房、印刷物）。グリーン購入品の促進は、工夫することでもう少し優先度を上げる。取り組めていない項目は、次年度に取り組める環境を目指す。				
環境活動者の取り組み評価	全般的に、昨年度に比べ各項目の習慣化が定着している。意識に個人差があるので、どの項目も継続的に取り組み、習慣化を目指す。カンファレンスにおける患者リストの印刷取りやめなどの新たな取り組みを来年度以降に検討している。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 口腔外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	紙ベースでの資料配布を削減し、印刷も白黒印刷することに努める。 機密情報のない裏紙、印刷ミスした紙をメモ用紙として使用する。	12. 5		ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	非感染性廃棄物を感染性廃棄物用ごみ箱へ廃棄しないよう、ゴミ分別を徹底的に行う。 包装紙、段ボール箱などを積極的に再利用する。	11. 6 12. 5	 	ゴミ分別は非感染性のもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・購入見積を確認し、費用を最小限に抑える。 ・グリーン商品であるものを優先的に選択し購入する。	12. 5		購入費用の一部が植林活動へ寄付されるコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・冷房を28℃に維持し、使用していない部屋はこまめに消灯・機器電源オフに努める。 ・消費エネルギーの少ない製品を用いる（うちわなど）	7. 3 12. 2	 	在室していない間の冷暖房のオフを徹底した。使用していない部屋の消灯を積極的に行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
実験試薬の適切な管理	薬品保存・使用簿の適切な管理	毒劇物や有機溶剤などの化学物質が適切に保存しているかどうかを適宜確認し、使用時も使用時間や使用量をこまめに記載する。	6. 3		化学物質を適切に保存し使用している量も把握できるよう担当者へ注意喚起を行い概ね守られた
リスクアセスメントの継続	アセスメントシートの作成・記録	実験室利用前後にリスク評価を行い、各設備に故障などの不備がないか適宜確認する。	12. 4		施設使用者へ設備の故障を適宜確認するよう喚起を行い、故障品の交換を行った

次年度の課題	
環境活動者の取り組み評価	

様式 1 （第 8 条関係）

<環境管理システム令和 5 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 組織学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷 コピー裏用紙再使用の促進 2アップの推進 研究室内での会議では、資料を原則としてEメールで配布し、会議用モニターを使用	11. 6		全ての研究室内会議は、資料をEメールで配布し、会議用モニターを使用した。2アップや裏用紙再利用は概ね守られた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別の徹底、特にコピー用紙、ミックスペーパー、雑誌の分別、プラスチック類の分別、古紙類の再利用	11. 6 12. 5	 	ゴミの分別を徹底するため、専用のゴミ箱を用意した。これにより紙の分別はより徹底された。プラスチックの分別に関して、家庭ゴミと事業ゴミの違いを理解し概ね守られた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	事務用品のグリーン商品への切り替え 見積先への確認	11. 6		事務用品のグリーン商品への切り替えが概ねできた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用 研究室内会議でのパソコンと会議用モニターの使用 パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 エレベーター利用の自粛(2UP, 3DOWNは階段を利用) 水の垂れ流しの防止 使用していない部屋と昼休み中の消灯	7. 1 11. 6	 	使用していない部屋の消灯を積極的におこなった。桶などを用意して水の垂れ流しを防止した。エレベーターの利用の自粛を促した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく。ゴミ分別、消灯などは徹底できるようにする。 残業時間の短縮促進と業務のスリム化を行う。				
環境活動者の取り組み評価	ゴミの分別や消灯などは、各個人がその方法や必要性を理解し、昨年度に比べて徹底されつつある。 昨年度に続き、研究室内の会議は全てモニターを使用して行うことができた。 エレベーターの利用の自粛を促したが、個人差が非常に大きいと感じた。年齢や体力に違いがあるので仕方のないことであるが、少しずつ浸透させていけるようする。 残業短縮や働き方改革は、本教室の大きな課題の1つである。様々な都合で難しい課題ではあるが、教室全体で取り組んでいく。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 神経解剖学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	会議資料はzoomでファイル配布したり画面共有することで紙の資料を廃止する。PCの印刷基本設定を両面印刷にする。	12.5	12つくる責任つかう責任 	会議資料は紙の資料を使用しなかった。印刷は基本両面印刷に設定し、ほとんどの教室員が取り組んだ。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 (特に非実験スペースから出るゴミ) ファイルなど不要備品の再利用	12.5	12つくる責任つかう責任 	事業所のゴミについて教室会で呼びかけ、ゴミの分別を徹底できたと考えている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内で購入物のグリーン購入100%の周知と定期的なチェック	12.5	12つくる責任つかう責任 	グリーン購入できる商品はグリーン購入にした。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 不在の部屋のこまめな消灯	7.3	7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房の温度設定とこまめな消灯節電を実行できた。実験室など不在時に消灯されているのを確認した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬廃液の管理	試薬と廃液の適正管理	試薬の使用記録と廃液の管理を誤りなく実施する	12.5	12つくる責任つかう責任 	試薬の使用記録と廃液の管理は一部記録の書き忘れが見られたが多くの教室員は適切に行っていた。
次年度の課題	少数ではあるが記録を書かない人がいるのに対しどのように対策をするか検討中である。注意喚起はすでに行なっているが効果がなかった。コンプライアンスの問題もあり方法を探る予定である。				
環境活動者の取り組み評価	今年度は教室会で時間をいただき呼びかける機会を増やした。4年生が配属される春夏の期間もゴミの分別や試薬簿廃液の記帳は正しく実施されていた。配布された節電ステッカーも多少の効果があるのではないと思われる。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 循環制御医学教室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カラーコピーの使用を制限する。原則両面印刷とし、2アップ（2枚分を1枚にコピー）をこころがける	12.5		
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	パソコン、機器のこまめなシャットダウン 実験消耗品（チューブなど）の再利用 適切なごみ分別の徹底 ミックスペーパーの徹底回収	7.3		
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入の必要性の周知 カタログ又は見積先に確認を行う。	7.3		
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	こまめな室内電機の消灯 極度な冷暖房設定をやめる パソコン、機器のこまめなシャットダウン 施錠時に施錠者が電子機器のシャットダウン	7.3		
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
実験廃棄物の管理	適正な管理の徹底	分別の徹底 管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教員への適正管理の指導	6		
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進				
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。 いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。 残業の短縮化など、働き方改革に関する部分はあまり、有休取得を推進する以外の部分が殆ど進まず、意識づけにとどまり、来年は実務に活かしたい。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 生理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	教室内での連絡事項はメールやオンラインツール（Slack、Teams など）を使用し、紙媒体でのやりとりを最小化する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	具体的な取り組み欄に記載した通り、Slack および Teams を活用することにより、紙媒体でのやり取りを最小限とすることができた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。各居室・実験室に適切なゴミ箱や廃棄容器を設置する。分別方法についても定期的に教室内で確認する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	教室内での全体会議などの機会において、ゴミの分別方法の注意点や変更点に関する複数回の周知がなされた。各居室や実験室に設置されている廃棄容器も充実させ、従前と比べて分別が徹底されてきていることを体感している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	各種物品を購入する際は、可能な限り（本来の目的に支障をきたさない範囲で）環境に配慮した製品を優先的に選択する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	具体的な取り組み欄に記載した内容を一部遵守することができた。 グリーン商品購入目標 100% のためには、教職員全体の意識をより高めていく必要がある。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	日中・夜間を問わず、使用していない機器類の電源はこまめに落とす。	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	具体的な取り組み欄に記載した内容を概ね達成することができた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
基礎研究に基づいた新たな診断・治療方法の開発	新規診断・治療法の礎となる成果についてまとめた論文を一報でも多く発表する	現在取り組んでいる様々な疾患（精神・神経疾患、脳損傷、がん、ブレインフォグなど）に関する研究内容をいち早く社会還元できるよう全力を尽くす。日々の研究活動やそれらが将来的に社会に及ぼす影響について、積極的に発信する。	3	3 すべての人に 健康と福祉を 	各種学会やクラウドファンディングなどの場を通じて、研究内容が社会に及ぼす影響・社会的意義をある程度発信することができた。
次年度の課題	今年度達成できた内容は、引き続き継続していく（ゴミ分別、消灯など） グリーン購入品の促進はさらなる向上の余地がある				
環境活動者の取り組み評価	年度目標は概ね達成できたが、「グリーン購入品の促進」を筆頭に、全体の意識はより高められる余地があると感じている。 全体に向けた能動的なアクションを積極的行えたわけではなかったため、今後の反省点としたい。				

様式 1 （第 8 条関係）

<環境管理システム令和 5 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 生化学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・コピー枚数の削減（コピー裏用紙再使用の推進、2 アップ（2 枚分を 1 枚にコピー）） ・コピーによる回覧の原則禁止（スキャナーで読み取った電子ファイルを一斉送信して回覧、Eメールでの転送） ・ペーパーレス会議（会議や打合せなどでのパソコンプロジェクターの使用）	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミ減量化に関する取組み（ゴミ分別の徹底、不要備品の再利用、持ち込みゴミの禁止） ・ゴミの資源化（ゴミ分別の徹底（特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底））	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・消耗品、備品についてグリーン購入促進への取組み（カタログ又は見積先に確認、見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼）	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・パソコン、プリンター、コピー機の電気の削減（パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定） ・冷暖房の効率的運転（冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用） ・消灯（夜間）の徹底（使用していない部屋、トイレや廊下のこまめな消灯） ・エレベーターの利用（利用の自粛（2 UP、3 DOWNは階段利用）） ・節水の励行（垂れ流しの防止）	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12. 4	12 つくる責任 つかう責任	
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6. 3	6 安全な水とトイレ を世界中に	
次年度の課題	消耗品、備品については、グリーン商品の購入促進に努める。省エネルギーの取り組みについては、職場メンバーへの継続的な注意喚起が必要である。				
環境活動者の取り組み評価	大部分の項目で概ね実施できている。次年度の課題を解決できるように、教室員全員が環境管理取組リストの内容に沿って活動し、各自が環境保全への取り組みを継続できるように促していきたい。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	必要部数を確認し印刷部数を削減 ミスプリントの防止を呼びかけ 2アップ・4アップでの印刷 必要に応じて配布物の電子化を推奨	12. 5		昨年度からTeamsを活用するようになったため、これまでにミーティングや周知のために印刷していた印刷物を削減できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する 再利用可能なものは再利用する ミックスペーパーの回収の徹底	12. 5		例年通り、ゴミの分別・再利用とミックスペーパーの回収については、これまで通り徹底されていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入について周知し、可能な場合はグリーン購入を実施	12. 5		基本的には、グリーン商品の購入が徹底されていた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋・トイレの消灯をこまめに行う エレベーター利用の自粛（2 UP、3 Downは階段利用） 使用していないPC、実験機器の電源を切る	7. 3, 12. 2		教室員が意識的に電気の消灯・PCの節電に努めていたと感じる。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
		試薬使用簿・受払簿への記入の徹底	12. 4, 12. 5		教室全体として、これまで通り記入は徹底されていた。
		試薬使用簿・受払簿への記入の徹底 適正な廃液処理の方法を部署内で共有	6. 3		試薬使用簿・受払簿の記入を徹底するよう周知し、時々記入漏れは見受けられたものの、概ね管理できていた。
次年度の課題	概ね目標を達成でき、試薬管理、廃液管理、節電について、教室全体で良く管理できていた。今後は、使用簿・受払簿の電子化への移行を目指したい。				
環境活動者の取り組み評価	例年通り、試薬管理、廃液管理、節電とも規定に則り、大変良く管理されている。次年度も、引き続き管理を徹底しつつ、今年度達成できなかった点を改善できるよう取り組んでいきたい。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 薬理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取りする。	12.4 12.5	12つくる責任 つかう責任 	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	unnecessary物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進する。	12.2 12.4 12.5	12つくる責任 つかう責任 	unnecessary物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	できるだけ、グリーン商品を購入する。	11.6	11住み続けられるまちづくりを 	できるだけ、グリーン商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	人のいない部屋の電気を消す。	7.3	7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	人のいない部屋の電気を消した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	来年度も目標達成を目指す。				
環境活動者の取り組み評価	今年度は概ね目標を達成できた。来年度も真摯に課題に取り組み、目標達成に努める。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 微生物学教室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・原則両面印刷・2アップ・4アップ印刷 ・連絡事項はEメールで送信	12.5		両面印刷、4アップ印刷、E-mailでの回覧を周知した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミ分別の徹底 ・ミックスペーパーの分別を徹底	15.5		ゴミ分別を徹底した。 ミックスペーパーの分別を徹底した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ、見積時にグリーン適合品を選択する ・グリーン商品であることを確認し、優先的に購入	12.2		グリーン商品を優先して購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・冷暖房温度の適正化 ・ブラインドの使用 ・使用していない部屋のこまめな消灯	7.5		冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用、使用していない部屋のこまめな消灯は達成した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
廃液管理	廃液管理を徹底する	・廃液管理簿への記入を徹底する ・実験排水処理方法を再度確認し実行する	6.5		廃液処理を徹底し、排水処理方法の確認を行った。
試薬・消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫の試薬を確認	・試薬、消耗品の発注を共用し重複を防ぐ ・試薬は共用し、期限切れ廃棄をなくす	12.5		R4年度に使用した消耗品購入費を算出し、今年度使用可能な額内に納められるよう計画的な利用を心掛けた。
次年度の課題	施設としての課題でもあるゴミの分別は概ね達成されているので、このまま次年度も継続していく。 グリーン商品の購入に関してもカタログのマークに注意して、都合のつく限りグリーン商品の個入を心掛けてゆく。 冷暖房、照明の適正な使用を行う。 次年度は人員の増員が見込まれるため、これらの目標についての周知を徹底する。				
環境活動者の取り組み評価	今年度は室員の流出に伴う圧倒的な基礎研究費の削減を受けて、非常に予算的に厳しいスタートとなった。維持費がないため、複合機プリンターを手放し、廃棄予定だったプリンターを譲り受けて使用し、与えられた予算の範囲内で行う努力をした。廃棄物に関しても人員に比例して大幅な減少となり、実験ゴミは僅かで、ほとんどが一般廃棄物であった。来年度は新教授が来られるという事もあり、予算額が大きくなることが予想されるが、環境に配慮した取り組みを今後も続けて行く所存である。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 免疫学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文献の印刷を控える。 文書はできるだけデータで扱い、印刷する場合は両面印刷する。 共有する情報はメールを用いて、紙媒体を使わない。	15. 2		文書の印刷はできるだけ控え、印刷するときは両面印刷を意識して行った。 文書の共有はできるだけデータで共有した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験計画・方法を工夫することで使用する 試薬・消耗品を最小限にする。	11. 6		実験計画・方法を少し工夫することで、作業の効率化を図り、プラスチック消耗品の使用量を最小限に留めた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入法適合商品の購入を推進する。	12. 5		印刷紙は全てグリーン購入法適合商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない機器の電源は消す。	7. 3		使用していない機器の電源はできる限り消した。特に恒温槽、オートクレーブなど消費電力を大きい機器は使用時のみに電源を付けるよう意識した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
教室内のセミナー資料の電子化	配布資料の電子化	セミナーや研究のディスカッションの配布資料を可能な限り電子化する。	12. 5		セミナーや研究のディスカッション資料はメールやZoomによってファイルを共有した。
次年度の課題	次年度においても今年度と同様に省資源、リサイクルに対する目標達成に向けて努力する。また、昨年度に引き続き4月の初めの教室オリエンテーションで教室の目標とSDGsについての説明をし、教室メンバーに対するSDGsの意識向上に務める。				
環境活動者の取り組み評価	今年度は教室内のセミナーは50%Zoomで行い、50%対面とZoomのハイブリッドで行った。いずれのセミナーも紙媒体の配布物はせず、データでの共有を行った。その結果、教室内での印刷物の使用頻度が減り、省資源への取り組みの目標を達成できたと考えられる。また、個人レベルで効率よく研究することを意識できるようになり、その結果試薬や消耗品などの無駄な使用が減らせたのではないかとと思われる。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文書は可能な限りデータで扱う。印刷が必要な場合は可能な限り両面印刷で行う。	12.5	12つくる責任つかう責任 	基本的には印刷が必要な時は両面印刷にするよう浸透してきた。文書も可能な限りデータでやり取りを進めた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別について周知徹底をする。プラスチックやミックスペーパーなどの分別をおこなう。再利用可能なものはできる限り再利用する。	12.5	12つくる責任つかう責任 	ゴミの分別についてはゴミ箱に廃棄するものを表記、付近に分別表を貼った。これにより分別の意識が高くなった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	実験スケジュールにあわせ、在庫状況や使用期限を確認して試薬の購入を行い、無駄な試薬の購入にならないよう努める。	12.5	12つくる責任つかう責任 	実験スケジュールにあわせ、在庫状況や使用期限を確認して試薬の購入を行い、無駄な試薬の購入にならないよう努めた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋の消灯と冷暖房の適正化	7.3	7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用していない部屋の消灯と冷暖房の適正化に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	試薬の適正な管理	試薬使用簿・受払簿への記入の徹底	12.4	12つくる責任つかう責任 	人の入れ替わりがあったので試薬使用簿・受払簿への記入について周知した。
次年度の課題	人事異動で人の入れ替わりもあるので引き続きゴミの分別、消灯、冷暖房、印刷物、環境負荷の少ないグリーン購入の促進について周知し努力する。				
環境活動者の取り組み評価	ゴミの分別についての意識は高くなっている。人のいない部屋の消灯などについても周知して慣習化を目指す。連絡事項等についてもメール等を活用し、印刷物を減らすように努力している。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

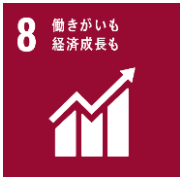
所管部署名 遺伝学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする。 印刷の設定を両面設定にしておく。 詰替商品など活用する。	12.5		お知らせ資料は基本的に全て電子ファイルで共有することができた。裏紙回収用のレータボックスを設置することで、裏紙使用が推進できた。文房具・洗剤など詰め替え用品が使用できるものは活用した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する。 マイボトルの使用 ペットボトル回収 マイボトルの使用 古紙の適切な分別	12.5		ミックスペーパー、雑誌・カタログ、新聞・チラシ用の回収ボックスを設置するなど分別の徹底に務めた。不適切な分別が認められた場合は、メーリングリストで周知を行い、ゴミ箱に注意喚起の張り紙を掲示した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の一部購入（ファイル、蛍光ペン、テープのり、ティッシュペーパー等） カタログ又は見積先に確認を行う	12.5		グリーン購入法適合マークの記載がある商品（チューブファイル等）を購入した。またテープ糊、修正ペンは詰替タイプを使用することでゴミの削減に務めた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不要な照明の消灯 使用していない電気製品、実験機器の電源OFF コピーの待機時省電力機能の設定 冷暖房温度の適正化(27-28℃程度)とサーキュレータの併用 階段利用 2アップ3ダウン	7.3		コピー機は不使用時の節電モード設定が徹底されていた。夏季は扇風機との併用により室温の適正化と節電に取り組んだ。実験機器の電源もこまめに電源OFFとすることを研究室内で徹底した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
環境上適正な化学物質、廃棄物の管理	使用試薬の正確な把握	使用簿、受払簿の適正な管理を行う 劇毒物の保管庫の施錠管理を徹底する 試薬棚に使用簿への記入を喚起する張り紙を掲示する 安全マニュアルを試薬棚に配置し取り扱いの確認を啓蒙する	12.4		使用簿を保管場所ごとに分けて設置し書き忘れ防止に努め適正な管理を行った。廃液・洗浄に関する張り紙を新しいものに張り替えて注意喚起に務めた。
次年度の課題	ゴミの分別に関して、一般家庭と事業所との違いに混乱があるようなので、周知徹底を行いたい。グリーン購入法適合マークの対象商品について認知度が低いように感じられたため、具体的に研究室で使用している物品について具体的に提示するなど更なる周知が必要と考えられる。				
環境活動者の取り組み評価	研究室全体としてゴミの分別、省エネの取り組みへの意識は概ね浸透しているように思われる。プラスチック類の分別に関して一般家庭と事業所との違いに混乱があったが（食品などで汚れていてもプラスチック類はプラスチックゴミに廃棄）、正しい情報の共有が出来た。				

様式 1 （第 8 条関係）

<環境管理システム令和 5 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 公衆衛生学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・オンライン講義に伴う配布資料のデジタル化 ・オンライン形式での試験を実施 ・原則ペーパーレス会議を実施	12. 5		教室運営会議をペーパーレス化した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ファイル類の再利用を行う ・学内の再利用品物品コーナーを活用 ・原則両面印刷を行っている ・ミックスペーパーは古紙として出す。 ・その他ごみの分別の徹底	12. 5		不要物品をリサイクルに提出した。また、ディープフリーザーを市からのリサイクル品で調達した。研究室のゴミ箱に事業ごみ分別の張り紙をし、分別を推進した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・環境に配慮した用紙を用いるよう心掛ける ・環境管理責任者による啓発・確認を行う	12. 5		左記の全ての取り組みを問題なく遂行した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・季節に合わせた軽装で業務に当たる ・各部屋に扇風機を配置し、冷却効率と換気を高める ・パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 ・ブラインドの使用 ・使用していない部屋の消灯 ・2 UP、3 DOWNは階段利用 ・水道水の垂れ流しの防止 ・業務の効率化にて残業の短縮化	7. 3		扇風機を各デスク近くに配置し、積極的に運用した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDG s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間ら	働き方改革の推進	チーム内での業務分担と相互連携			1on1ミーティングを定例化し、意思疎通に努めた。
次年度の課題	電力削減、廃棄物減量、働き方についてすでにできていることは習慣化し、より一層目標達成に務める。				
環境活動者の取り組み評価	各項目についてまんべんなく取り組みが遂行でき、定例化していた内容も見直したことで環境に配慮した教室運営が進んだと評価する。□ ☐ ☐ ☐ ☐				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

プロテオーム解析センター

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・両面印刷あるいは2アップ印刷を心がける ・文献はプリントアウトを控えPDFファイルで閲覧する ・連絡事項はチャット、Eメールを利用する	12. 5		・コピー用紙は必要最低限の使用を心がけた ・文献閲覧はネット閲覧を徹底した ・連絡事項はチャットを利用した
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミの分別を徹底する。特にプラスチックに関しては自治体とは違うため注意する ・ミックスペーパーと燃えるゴミの分別を理解して徹底する ・備品の再利用	15. 2		・ミックスペーパー、プラスチックの分別を徹底したため燃やすゴミの減量化を達成 ・備品は作動不良時は廃棄にせず修理により再利用した
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログまたは見積時にグリーン適合品があるかの確認をして優先的に購入する	12. 5		・グリーン適合品を優先的に購入した ・購入する前に必要性を十分に考え、長期間の使用を考慮した上で製品を購入した
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・パソコン、コピー機を節電モードに設定 ・節水のため器具洗浄時の垂れ流し防止 ・エレベーター利用の自粛 ・冷凍庫、冷蔵庫の開閉時間の短縮 ・使用していない部屋のこまめな消灯	7. 3		・パソコン、コピー機の待機時省電力、こまめな消灯、エレベーター利用自粛を徹底した ・器具洗い時の節水も実行できた ・使用していない部屋の節電を心がけた
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬、消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫内の試薬を確認	・試薬、消耗品の発注はオーダーリストを共用し重複を防ぐ ・試薬は使用期限を確認し使いきれ量の製品を購入する	12. 5		・試薬購入時は必ず在庫の確認を行い、重複を防いだ ・購入希望リストを部署内全員で共用した事により、無駄な購入をしなかった
廃液管理	廃液の管理を徹底する	・廃液管理簿への記入を周知する ・実験排水処理方法を確認し実行する	6. 3		・廃液管理簿への記入を徹底した ・実験排水処理を再確認した
次年度の課題	廃棄物の減量化を目指しゴミの分別を徹底する。特にペーパー類は細分化されているので再度確認して正しい分別を実行する。すでに徹底されている試薬、消耗品の重複を避けた購入方法はそのまま維持する。連絡事項はPCチャット、Eメールを引き続き利用する。				
環境活動者の取り組み評価	自らの行動に責任をもち、環境に配慮した取り組みを実施したことにより、年度目標を概ね達成できたと考える。来年度も引き続き様々な面で環境対策に取り組みたい。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	職員への周知、回覧事項は印刷物は避け、原則としてメールを使用する。可能なものは、両面印刷と2アップでコピーを行う。	12. 2		周知、回覧はメール等使用し、ほぼ印刷物の使用はされていない。コピーは必ずしも両面印刷になっていなかった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	医薬品の個装箱を圧縮して廃棄するように努める。また不要備品の再利用を行う。	12. 5		業務に忙しい時は圧縮して廃棄はできなかったが、可能な限り努める事が出来た。備品の再利用も可能な限り行えた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	同等品があればグリーン商品を優先的に購入する。	12. 2		優先購入に努めることができた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	当直時、不要な照明の消灯とPCシャットダウンを行う。			業務に支障が無い程度に行うことが出来た。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬、廃液の取り扱い管理		製剤室で製剤品を調製する際に発生する排液の適正な管理並びにそれら使用簿、受払簿の適正な管理を行う。	6. 3 12. 4	 	適正に管理できた。
次年度の課題	環境活動は継続し続けることが重要であると考えている。今後も引き続き取り組みを続けていく。				
環境活動者の取り組み評価	薬剤部の周知、回覧はIT化がすすめられており、ほぼペーパーレスになっていると思います。今後、さらに環境活動の啓発に努めていきたい。				

様式１（第８条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 臨床検査部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	PCで作業が完結できる資料はPDF化して紙を使用しない運用にする。		12 つくる責任 つかう責任	会議でモニターを活用して紙を削減した。ISO15189の手順書管理をPDF化して紙を削減した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	検査試薬を大量に使用するため、紙を資源ごみに分別する。		12 つくる責任 つかう責任	資源ごみにできる紙の分別ができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入商品でグリーン購入できるものを調べ、代替え可能であれば、切り替える。		12 つくる責任 つかう責任	購入できるものは切り替えた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していないパソコンは電源を切る。当直時は使用していない場所の電気を消す。水の使用に注意する。		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	節電を部内の職員に意識させた。機器更新に伴い、機器洗浄時間設定が細かくできたので節水につながった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	今年度実施した事を継続して実施する。 業務のスリム化を促進する。目的を明確にして時間を有効活用する。				
環境活動者の取り組み評価	全体の意識を少しずつ改善できた。 意識だけでなく行動できる仕組みの構築ができた。具体的な例では当直時など人が少なくなる時に消すスイッチに色を付けた。消す仕組みができた。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 病理部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	コピー用紙の削減	12. 5		今まで印刷していた手術材料の切り出し写真・ISO文章印刷を一部やめることによりコピー用紙の削減が行われた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不要物品の再利用	12. 5		ゴミ箱に可燃ごみ、プラスチックなど分かりやすいように色を付け、ゴミの分別を徹底した。また、ファイルの使いまわしを行った。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログや見積もりでより安価な物品を購入する	12. 5		試薬の見直しなどを行いアルコールなど安価なものに変更した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 エレベーター使用の自粛 業務効率による残業の短縮	7. 3		冷暖房温度を常に意識し、適正に使用できた。また、使用しない部屋の消灯を短時間でも実施した。
所管業務目標設定	2023年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理 使用簿、受け払い簿 の適正な管理	試薬の適正な使用 環境上適正な使用	試薬の管理を徹底し、期限切れなどの無駄な使用がないよう管理する ホルマリン管理のマニュアルの見直し	12. 4		試薬の管理を常時行い無駄をなくすよう徹底した。 ホルマリン管理マニュアルを再作成した。
次年度の課題	今年度に引き続きゴミの分別に力を入れたい。				
環境活動者の取り組み評価	全体的に今年度目標はほぼ達成された。しかしながらまだ改善の余地もあり、今後も更なる取り組みを行う予定である。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 看護部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	管理会議や師長会などの資料の共有は、紙面での配布ではなく、データを用いた共有を行う。 印刷に関しては、部署周知が必須と判断した資料を印刷する。	12. 5		具体的取り組み事項に沿った対応を実施した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5		ごみについては、院内全体の情報提供はないが、各部署引き続きごみの分別に取り組みを実施した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	物品購入など行う際は、物品担当に確認する	12. 5		具体的取り組み事項に沿った対応を実施した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯や休憩時間など、患者の療養環境に関与しない場所（特に看護管理室は休憩時間の消灯を実施） 節水 エレベーター利用の自粛	7. 3		部署においてはなかなか節電等の実施は難しい現状にあるが、看護管理室内では休憩時間は消灯し節電に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各部署での業務改善に向けた取組 年次休暇の取得推進 柔軟なリリーフ体制の実施	8. 5		業務改善に向けて看護部内でマスク2色制を導入した。またリリーフ体制や年休取得状況も日々リリーフ体制を行いながら対応を行った。
次年度の課題	今年度取り組んだことに対しては次年度も引き続き定着できるよう声掛けをする。 看護部内で検討している業務改善に取り組み、超過勤務時間の短縮に取り組む。				
環境活動者の取り組み評価	紙の削減や省エネなど、看護部全体で取組みに寄与した。 次年度以降医師の働き方改革が開始されるため、他部門とタスクシェア・シフトを強化し、組織全体で時間管理に取り組む働きやすい組織づくりを行っていきたい。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 栄養部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・回覧、通知文はメール配布 ・コピーは両面、2in1など枚数削減 ・コピー損じ、メモ紙へ利用	15		・通知文はメール周知としている。PCがない職員については回覧文書を回している。 ・カラーコピーの印刷頻度を減らした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミの分別、ごみ箱の区別 ・廃油リサイクル	12		・取り組みできている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ又は見積もり先に確認を行う。	12		・意識している。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・不在時、こまめな消灯、電源OFF ・冷暖房、温度の適正化 ・エレベーターの利用自粛 ・退社時間の短縮	7		・事務所前廊下については使用時でない時は、半点灯としている。 ・夜間洗浄室以外の消灯。 ・なるべく残業しない。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の試み	コピー用紙を減らす	・回覧、通知文はメール配布 ・栄養部OneDriveの文書閲覧 ・メール会議の活用 ・資料のWEB閲覧 ・勤務表はWEB管理化	15		・職員も意識していることが多くなった。OneDriveでの情報共有は効率化、情報共有に有効でもあった。勤務表はWEB管理とし、誰もが確認、修正できる方法とした。 ・見るだけの会議資料はモニターで閲覧する方法に切り替えた。
省資源の試み	ディスプレイ食器の減量	・コロナ感染症が2類から5類と変更になったため、感染対策としていたディスプレイ食器の取り扱いを廃止する。	15		・削減により、業務の効率化も図ることができた。 ・コストそては年間150万円削減できた。
次年度の課題	部署で削減できることはほぼ実施している状態である。 厨房内については新規購入物品購入の際には省エネに切り替える。 今後はミス印刷の削減に取り組みたい。				
環境活動者の取り組み評価	カラー印刷は必要以上に行わない。院内配布物は、一斉メール等で連絡。会議資料はモニター使用などで印刷物の削減を行うような習慣ができた。今後とも節約意識をもち、資源管理を行う。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和5年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 医学・病院企画課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷とする。 コピーをする前にコピーの設定が正しいか再度確認する。	12.5		両面印刷をすべきところ、印刷の設定を間違えて片面印刷にしてしまうことが時々あった。印刷設定を確認する習慣を身に付ける必要がある。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。 ファイル類は再利用コーナーにあるものを原則使用する。 使わなくなったファイル類は再利用コーナーに返す。	12.5		ごみの分別はしっかりと行うことができた。 ファイル類は再利用コーナーにあるものを使用することができた。今後は紙による保存から電子データによる保存へと進めることにより、ファイル類そのものの使用を減らしていきたい。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	備品・消耗品等を発注する際には、発注先又はカタログでグリーン商品であるか確認する。	12.5		グリーン商品に適合したコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用しない照明、空調はこまめに消す。 サーキュレーターを使用し室内の温度差を抑制する。 ブラインドを活用し、冷暖房の運転を効率化する。	7.3		昼休み時は、こまめに電気を消した。 サーキュレーターを使用し室内の温度差を抑制した。 ブラインドを活用し、冷暖房の効率化につとめた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
会議の見直し	ペーパーレス会議の推進	パソコンを活用しペーパーレス会議を進める。	12.5		ペーパーレス会議を実施した場合もあったが、簡易な打合せなどでは、紙を利用することがあった。
次年度の課題	省資源の取組として、カラーコピーの必要性も合わせて意識することが必要である。				
環境活動者の取り組み評価	環境負荷の少ないグリーン購入の促進、省エネルギーの取り組みは十分に取組んでいる。一方で、ペーパーレス会議の推進は、まだ浸透させる余地があると考えている。				

様式 1 （第 8 条関係）

<環境管理システム令和 5 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 医学・病院企画課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R4年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷とする。 コピーをする前にコピーの設定が正しいか再度確認する。	12. 5		
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和4年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。 ファイル類は再利用コーナーにあるものを原則使用する。 使わなくなったファイル類は再利用コーナーに返す。	12. 5		
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	備品・消耗品等を発注する際には、発注先又はカタログでグリーン商品であるか確認する。	12. 5		
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用しない照明、空調はこまめに消す。 サーキュレーターを使用し室内の温度差を抑制する。 ブラインドを活用し、冷暖房の運転を効率化する。	7. 3		
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
会議の見直し	ペーパーレス会議の推進	パソコンを活用しペーパーレス会議を進める。	12. 5		
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					